

オキサリプラチンを含む術後補助化学療法施行例に対する赤血球中および血漿中白金濃度のバイオマーカーとしての探索的評価

【研究目的及び内容】 赤血球中白金濃度、血漿中白金濃度の安全性に関するバイオマーカーとしての有用性を探索的に評価する。

【研究期間】 平成 24 年 8 月 2 日～平成 26 年 9 月 30 日

【進捗状況】 (平成 24 年 8 月 2 日～平成 25 年 3 月 18 日)

【登録状況】 9 例

登録症例一覧

登録番号	臨床病期	レジメン	治療状況
バイオ-01	StageIII	XELOX	終了
バイオ-02	StageIII	XELOX	終了
バイオ-03	StageIII	XELOX	終了
バイオ-04	StageIII	XELOX	終了
バイオ-05	StageIII	XELOX	7 コース施行中
バイオ-06	StageIII	XELOX	5 コース施行中
バイオ-07	StageIII	XELOX	4 コース施行中
バイオ-08	StageIII	XELOX	3 コース施行中
バイオ-09	StageIII	XELOX	2 コース施行中

興味ある症例 第 1 ポイント (XELOX : 4 コース目) :

赤血球中白金濃度 1246ng/ml

血漿球中白金濃度 1290ng/ml

第 2 ポイント (XELOX : 8 コース目) :

赤血球中白金濃度 1246ng/ml

血漿球中白金濃度 276.6ng/ml

有害事象 : 末梢神経障害 (Grade2) のため化学療法中止。

【考察】 白金は赤血球中に蓄積され、血漿中へ移行し、血漿中の濃度により神経障害が生じるのではないかと思われる。

【今後の予定】 現在、本研究へは毎月 1 例以上登録されている。今後、本研究への症例登録をさらに推進し、白金濃度測定用検体を集積する。